施設名	学園都市センター

視点		評価項目		NO.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価(コメント)	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	計画どおりに人員が配置されているか (ポスト数)	①運営体制　課長1(兼務)　主査1　窓口職員4 　　窓口スタッフ8　舞台3 ②管理運営　常時3名配置 ③舞　　台　催し物に応じて配置	1	B		①課長1(兼務)　課長補佐1　主査1　主任1　窓口職員(主事)3 窓口スタッフ9　舞台3 ②常時3～4名配置 ③催し物の内容により1～3名配置	B		①課長1(兼務)　課長補佐1　主査1　主任1　窓口職員(主事)3 窓口スタッフ9　舞台3 ②常時3～4名配置 ③催し物の内容により1～3名配置						
		計画どおりに有資格者を配置しているか(人数)	①防火防災管理者　1名 ②自衛消防技術認定　1名 ③上級救命技能認定者　1名 ④安全衛生推進者　1名 ⑤職長・安全衛生責任者教育修了者(舞台)　1名 ⑥舞台照明技術者認定1級(舞台)　1名 ⑦舞台機構調整技術士(音響)1級　1名 ⑧サービス介助士　前年・当年度配置者以外全員取得 ⑨防災介助士　1名 ⑩認知症サポーター　1名 ⑪甲種防災管理者　1名 ⑫第1級劇場技術者　1名	2	A	有資格者について、計画を上回る人数を配置し、安定した施設の運営を行った。 ※38名（今期の配置人数） /10名（計画上の配置人数） ＝380%	①1名 ②3名 ③5名 ④8名 ⑤1名 ⑥1名 ⑦0名(異動により/年度内受験) ⑧11名 ⑨4名 ⑩2名 ⑪1名 ⑫1名	A	有資格者について、計画を上回る人数を配置し、安定した施設の運営を行った。 ※38名（今期の配置人数） /10名（計画上の配置人数） ＝380%	①1名 ②3名 ③5名 ④8名 ⑤1名 ⑥1名 ⑦0名(異動により/年度内受験) ⑧11名 ⑨4名 ⑩2名 ⑪1名 ⑫1名						
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例:銀行口座の通帳】	3	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。						
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例:独立した会計帳簿】	4	B		資金を適切に管理するとともに、経理内容を明確にしている。公益法人会計システムを導入し、総勘定元帳・事業別元帳により経理状況は明確となっている。	B		資金を適切に管理するとともに、経理内容を明確にしている。公益法人会計システムを導入し、総勘定元帳・事業別元帳により経理状況は明確となっている。						
			利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例:独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納（徴収）事務委託契約書・銀行口座】	5	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。						
		収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例:事業計画書(収支計画)・事業報告書】	6	B		4-6月利用料金収入 14,105,150円(期中予算比89%)	B		7-9月利用料金収入 10,122,180円(期中予算比83.7%)						
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するに当たり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例:事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	7	B	定期的に研修を行うことを評価する。 引き続き、内部の研修及び外部の研修を取り入れ、業務効率化や施設サービスの向上を図られたい。	①Pro Lighting&Pro Audio 機材展2025　1名 ②パストラーレ新システム研修　5名	B	定期的に研修を行うことを評価する。 引き続き、内部研修及び外部研修を取り入れ、業務効率化及び施設サービスの向上を図られたい。	①舞台機構調整技能検定3級　受講及び検定試験　1名 ②J:comホール八王子避難訓練コンサート　2名						
			給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例:給与規程・賃金台帳】	8	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。						
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	9	B		期中予算比89.0% 適切に執行し、市へ毎月報告を行っている。	B		期中予算比83.7% 適切に執行し、市へ毎月報告を行っている。						
			業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例:第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	10	B		第三者への一部業務委託については市に協議をしている。	B		第三者への一部業務委託については市に協議をしている。						
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	計画どおりに設備・備品点検が行われているか(回数)	設備点検（定期点検）回数37回/年 ・舞台設備7回 　舞台機構3回(6・10・2月）、音響設備1回(11月)、 　照明設備1回(2月)、 　映写設備1回(1月)、ロールバックチェア1回(7月) ・電動シャッター1回(2月) ・電気設備12回(毎月) ・空調設備2回(5月・11月) ・冷水器12回(毎月) 備品点検　ピアノ3台各1回(8・2月）	11	B		8回実施 舞台機構　1回(6月→5月） 電気設備　3回 空調設備　1回 冷水器　3回 （）以外は予定通り実施した。	B		8回実施 電気設備　3回 冷水器　3回 その他定期点検:オペラブルウォール　1回 備品点検:ピアノ保守点検1回 予定通り実施した。						
		施設の利用方法の変更又は新たなサービス、その他のお知らせのホームページ掲載(回数)	24回/年	12		年度末の数値をもって評価する。	16回 ・抽選会、催し物案内の更新など ・延長料金の改定について		年度末の数値をもって評価する。	12回 ・抽選会、催し物案内の更新など ・ポスターデザインコンテスト告知 ・休館日のお知らせ						
		指定管理者（学園都市文化ふれあい財団）が発行する「情報誌ララ」への会館施設情報や実施事業の記事掲載(回数)	3回/年	13		年度末の数値をもって評価する。	期中なし		年度末の数値をもって評価する。	期中なし						
		業務関連法令調査による法令一覧の更新(回数)	1回/年	14		年度末の数値をもって評価する。	ISO9001運営マニュアルに基づき、業務関連法令等について調査を実施済み(6月）		年度末の数値をもって評価する。	ISO9001運営マニュアルに基づき、業務関連法令等について調査を実施済み(6月）						
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例:条例、規則・日報、月報・事業報告書】	15	B		開館日数91日 予定通り開館した。	B		開館日数91日 予定通り開館した。						
			減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか 【確認資料例:減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	16	B		大学・学生の利用の場合は「利用料減額・免除申請書」の提出を依頼。また、学生については、減免申請の際に名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体においては「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。 障害者減免件数:2件 大学利用減免件数:4件 学生利用減免件数:43件	B		大学・学生の利用の場合は「利用料減額・免除申請書」の提出を依頼。また、学生については、減免申請の際に名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体においては「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。 障害者減免件数:1件 大学利用減免件数:21件 学生利用減免件数:35件						
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例:ファイル基準表・実地調査】	17	B		ファイル基準表をもとに、適切な文書の保存・廃棄を行っている。	B		ファイル基準表をもとに、適切な文書の保存・廃棄を行っている。						
			修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例:事業報告書・実地調査】	18	B	施設設備、機器等の保守・管理等が適正に履行されていることを評価する。	修繕1件 ①13階系統FCU強制冷房運転対応作業 ・ホールについては、舞台、音響、照明について点検項目ごとに日常点検を行っている。	B	施設設設備、機器等の保守・管理等が適正に履行され、設備の信頼性と安全性が確保されていることを評価する。	修繕5件 ①12階イベントホールプロジェクターランプ交換修繕 ②12階イベントホール音響簡易操作卓更新 ③第3.4セミナー室 オペラブルウォール修理作業 ④11階事務室情報機器ラック増設修繕 ⑤無線LAN(gakuen-jimu)拡張工事 ・ホールについては、舞台、音響、照明について点検項目ごとに日常点検を行っている。						
			備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例:備品台帳・実地調査】	19	B		・利用後に各備品の数と状態を確認し、利用者に支障の無いよう管理した。	B		・利用後に各備品の数と状態を確認し、利用者に支障の無いよう管理した。						

令和7年度（2025年度）モニタリングシート

視点	評価項目			NO.	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者満足度	利用者満足度 「満足」97%以上、「大いに満足」の割合42%以上	20		年度末の数値をもって評価する。	7月から実施予定		年度末の数値をもって評価する。 アンケート方法はLoGoフォーム等を活用した電子化を検討すること。	7月から実施。サンプル回収中。						
	定量的	受付・事務スタッフのサービス介助士取得率 （期中の新規採用者、休職中職員、臨時職員等は除く）	（前年・当年度配置者以外）全員取得	21	A	対象となる全職員が取得されていることを評価する。今後も職員の専門性を強化し、利用者サービスの一層の向上に努められたい。	対象の管理運営に係る正規職員5/5(100%)	A	対象となる全職員が取得されていることを評価する。今後も職員の専門性を強化し、利用者サービスの一層の向上に努められたい。	対象の管理運営に係る正規職員5/5(100%)						
	定量的	SNSの情報発信（回数）	240回/年	22	B	施設の認知度向上について、ターゲットごとの周知手法を検討し、より効果的な発信に取り組まれたい。	期間中累計53回 4月19回、5月17回、6月17回 ・例月の受付開始、催し物案内更新のお知らせ ・ビッグウエスト等の事業、財団他施設(夢美術館)の様子など ・ギャラリー利用者による展示会PR 9件	B	引き続きSNSを活用し、効果的に発信に取り組まれたい。	期間中累計29回 7月7回、8月15回、9月7回 ・例月の受付開始、催し物案内更新のお知らせ ・伝承のたまてば二等の事業、財団他施設(夢美術館)の様子など ・ギャラリー利用者による展示会PR 14件						
	定量的	事故・苦情の発生件数に対する対応状況（対応割合）	100%	23	B	再発防止策として手順見直しを実施した点は評価する。管理台帳の電子化を確実に進め、再発防止の徹底を図られたい。 また、お客様から頂いた意見に適切に対応していることを評価する。引き続き、利用者視点に立った運営に努められたい。	100%対応 【事故報告 1件】・先行予約申請のメールの処理漏れにより、ダブルブッキングが発生。→申請者にお詫びし、再発防止として手順と確認ポイントの見直しを実施。年度内に管理台帳の電子化を目標とする。 【お客様の声 10件】①いちょう塾の講座が中止になり後からセミナー室が空いていることが多い。管理を慎重にしてほしい→学園都市大学と情報共有、できる限り早めに解放するなど適切な管理に努める。②主催者(施設利用者)が不当に高い利益を得ている。利用をやめさせてほしい。→主催者にもヒアリングを行ったが会館の規程に違反するものではなく、原則関与できないことを申し出者に説明。納得いただいた。③清掃の不備(糸くずが落ちていた)→改めて注意する。④いちょう塾受講生より「昼頃にセミナー室前のソファなどをホール利用者と思われる人たちが占拠してしまう」→抽選会などで注意を呼びかけ、当面は見回りと声掛けを実施。⑤駐車場の案内が分かりにくい→WEB表示変更を実施予定⑥、⑦ステージ階段に手すりを付けてほしい・鏡のある施設がほしい→検討する⑧ホワイエ音量を上げて欲しい→現状の設備では最大設定であると説明、お詫びした。 その他謝辞2件	B	事故について、迅速な対応がなされていることを評価する。再発防止のため、安全管理体制の徹底を図られたい。 また、48件の意見に対し、改善策を講じている点は評価する。引き続き利用者視点を重視し、サービス向上に努められたい。	100%対応 【事故報告 2件】①来場者(ボランティアスタッフ)が体調不良になり、主催者より救急車の要請があったため対応。救急搬送後、入院したとの報告あり。持病の発作によるものとのこと。②会館職員がガラス清掃作業中に脚立から降りようとしてバランスを崩して落下し、尾てい骨付近と後頭部を打撲した。病院にて異常なしと診断を受けた。 【お客様の声 48件】 満足度調査で記入されたものも報告しているため、一部はスペースの都合上項目のみまとめる。 ①第4セミナー室の音がうるさい→パーテーションで仕切られた部屋のため、声が聞こえることがある。内線を依頼。②ホワイトボードマーカーがなかった→鍵を貸し出す際に一緒に渡すように準備するようにした。③ネットで予約がしづらい。見づらい→新システムで改善予定。④場所がわかりづらい所がある→表示の追加を実施。⑤空調の設定がうまくいかない→職員にお声がけいただくよう案内。⑥10分より前に開けてほしい→可能な場合は延長を案内。⑦支払いに時間がかかった→キャッシュレス決済も迅速に操作できるようにする。 その他：施設7件、料金2件、対応10件、WEBシステム11件、謝辞10件、他館転送1件						
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【確認資料例：相談、苦情をまとめた整理帳簿】	24	B		No.23に記載	B		No.23に記載						
	定性的	創意工夫により魅力ある自主事業の実施や地域社会への貢献等を通じて、施設の利用拡大やサービスの向上が図られていること		25	B	引き続き、学生利用促進に向けた取組を図られたい。	・学生限定ポスターデザインコンテストの募集を開始予定 ・ホールでのピアノ及び持込楽器の試し弾きを行える事業「響き渡る」について、引き続きJ:COMホール八王子との共同開催を計画。職員間で調整を行っている。	A	学生利用促進に向けて、財団の資源を活用し、新規イベントの企画を積極的に進めていることを評価する。 引き続き、認知度のさらなる向上と利用促進に努められたい。	・学生限定ポスターデザインコンテストの参加募集中 ・ホールでのピアノ及び持込楽器の試し弾きを行える事業「響き渡る」について、引き続きJ:COMホール八王子との共同開催を実施することで決定。募集を開始した。 ・Eスポーツイベントについて12月の開催に向けて大学コンソーシアム八王子や芸術文化振興課を交え、学生団体と連絡を取り合っている。10月に企画書完成予定。 ・リオモールマネジメント(八王子スクエアビルの商業フロア管理会業)より10/26に予定しているハロウィンイベントについてスペースが必要と相談あり、課内で調整し大学コンソーシアム八王子が展示を実施している交流サロンを使用予定。						
	定性的	居心地の良い空間、どなたもが利用しやすい施設など求められるニーズをいち早く捉え、サービスの向上が図られていること		26	B	引き続きサービス向上に取り組まれたい。	・展示効果を保つためのギャラリーホールパネル補修(職員が実施)…10回 ・名札にサービス介助士、AED資格者のマークを表示することとした。 ・No.23お客様の声④を受け、当面の間12～13時の巡回とお声がけを実施する。		引き続きサービス向上に取り組まれたい。	・展示効果を保つためのギャラリーホールパネル補修(職員が実施)…8回 ・No.23お客様の声④を受け、12～13時の巡回とお声がけを継続実施している。						
施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか	定量的	利用料金収入 年度収支計画以上 （キャンセル料は除く）	43,435,000円/年	27		年度末の数値をもって評価する。	13,896,650円 期中予算比88.2%			期中10,122,180円 期中予算比82.9% 年度累計24,227,330円 年度予算比55.8%						
	定量的	管理経費 年度収支計画以下 （人件費を除く）	53,753,000円／年	28		年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価することとなっている。		年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価することとなっている。						
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	指定申請提案書「利用者の誘致・拡大に関する方策」に掲げた日数利用率目標値を基に単年度目標値を設定	イベントホール 100%	29		年度末の数値をもって評価する。	期間中100% 【前年同期間：100%】		年度末の数値をもって評価する。	期間中100% 【前年同期間：96.6%】						
	定量的		ギャラリーホール 80%	30		年度末の数値をもって評価する。	期間中59.79% 【前年同期間：65.4%】 隔年開催の展示の減、水彩画展示について今年は別の会場(国立と交互に実施とのこと) 予約の入らない部分について多目的などの促進を図るため、4月に多目的利用の受付期間を変更した。		年度末の数値をもって評価する。	期間中39.0% 【前年同期間：46.4%】 昨年複数日利用した団体が隔年開催などで今年度の利用がなかった。あわせて、多目的利用の減。 ・予約の入らない部分について多目的などの促進を図るため、4月に多目的利用の受付期間を変更した。						
	定量的		セミナー室他 95%	31		年度末の数値をもって評価する。	期間中90.6% 【前年同期間：90.9%】 引き続き直近の利用などを柔軟に受付して利用率の向上に努める。		年度末の数値をもって評価する。	期間中86.4% 【前年同期間：91.4%】 引き続き直近の利用などを柔軟に受付して利用率の向上に努める。						
	定量的	大学・学生の利用	300件/年	32		年度末の数値をもって評価する。	学生減免：43件 学校減免：4件 合計47件		年度末の数値をもって評価する。	学生減免：35件 学校減免：21件 合計56件						
	定性的	学園都市づくりに資する事業協力がなされていること	大学コンソーシアム八王子の事業拠点としての連携・協力（イベント実施時の受付業務サポート等）	33	B		・学生天国開催時の台車誘導などを実施 ・事務室内情報機器ラック増設について調整 ・事業の先行予約について調整	B		・学生天国開催時の台車誘導などを実施 ・事務室内情報機器ラック増設について調整 ・事業の先行予約について調整 ・7/19～20夏休みキッズもいちょう塾の応援(各日3名) ・加盟校キャンパスが設備不良のため立ち入り禁止となり、コンソーシアムから施設利用ができることを案内した。該当校から17件の予約申込あり(うち3件は後に取消) ・8/24～26 SDFDフォーラムの設営と撤収応援(1名) ・次年度改修計画について情報を共有し、事業実施計画を調整中						
	定性的		八王子学園都市大学事業への連携・協力	34	B		・講座の申し込み受付、登録証発行をサポートした ・講座資料等の搬入出対応を行った ・募集人数に満たない講座についてSNS発信のサポートを8件実施	B		・講座の申し込み受付、登録証発行をサポートした ・講座資料等の搬入出対応を行った ・募集人数に満たない講座についてSNS発信のサポートを2件実施 ・受講生から「ホール利用者でロビーが混雑する」と相談があり、チェックイン前の巡回を継続。(5月～実施中) ・次年度改修計画について情報を共有し、講座実施計画に支障がないよう調整した ・先行予約について、講座の日程が決定した段階で更なる情報共有を図り、先行予約手続きがスムーズに行えるよう努めた						
	定性的	本市の学園都市づくりに即した管理運営がなされていること	「第2期はちおうじ学園都市ビジョン」に基づく、本市の学園都市づくりに即した管理運営がされているか 【ヒアリング等で確認】	35	A	学生の利用促進につながるイベントを企画したことを評価する。	指定申請提案に先駆け、学生天国出展団体とイベントの企画を立ち上げることとした。(Eスポーツ予定/実施予定12月頃)	A	学生利用促進に向けて、新規イベントの企画を積極的に進めていることを評価する。	Eスポーツイベントについて12月の開催に向けて大学コンソーシアム八王子や芸術文化振興課を交え、学生団体と連絡を取り合っている。10月に企画書完成予定。						
	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市ゼロカーボン指針」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	36	B		・節電・節水への協力ポスターを館内に掲示している。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷、裏紙の使用などによる省資源化に努めた。 ・供覧物や情報共有のメモなどはデータ化し、紙資源の削減に努めた。 ・確定日のお知らせや請求書は可能な限り郵送ではなくメール送付している。	B		・節電・節水への協力ポスターを館内に掲示している。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷、裏紙の使用などによる省資源化に努めた。 ・供覧物や情報共有のメモなどはデータ化し、紙資源の削減に努めた。 ・確定日のお知らせや請求書は可能な限り郵送ではなくメール送付している。						
	定性的		コピー機使用枚数 前年度と比較 5%削減	37		年度末の数値をもって評価する。	年度末に比較する。 ただし、今年度は新システム入替作業のためデータ印刷量が増加する見込み。		年度末の数値をもって評価する。	年度末に比較する。 ただし、今年度は新システム入替作業のためデータ印刷量が増加する見込み。						
	定性的		エネルギーの使用削減（経費の節減）に積極的に取り組んでいるか 【ヒアリング・資料等で確認】	38	B		環境への配慮及び光熱費の高騰対策として、利用状況に合わせ必要最小限の時間と範囲で空調や照明を運転、点灯するなど、積極的な省エネルギーに努めた。夜間は早い時間に利用が終了した場合、ビル管理組合と連携して使用しないフロアを点検した後に施錠・消灯と空調のオフを行った。	B		環境への配慮及び光熱費の高騰対策として、利用状況に合わせ必要最小限の時間と範囲で空調や照明を運転、点灯するなど、積極的な省エネルギーに努めた。夜間は早い時間に利用が終了した場合、ビル管理組合と連携して使用しないフロアを点検した後に施錠・消灯と空調のオフを行った。						

視点	評価項目			NO.	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	個人情報保護関連研修（情報セキュリティ・マイナンバー等）への参加（回数）	1回／年	39		年度末の数値をもって評価する。	年度内に実施予定		年度末の数値をもって評価する。	年度内に実施予定						
		防災・消防訓練参加（回数）	2回／年	40		年度末の数値をもって評価する。	1回 ・6/20　八王子スクエアビル全体の消防訓練を実施。(1名参加) ・有事の避難対応について、毎日朝礼にて緊急時対応職員の役割分担を確認している。		年度末の数値をもって評価する。	1回 ・ビル避難訓練の実施はなし（次回は11月を予定） ・期中実施研修に防災関連項目を取り入れた（No.7欄②） ・有事の避難対応について、毎日朝礼にて緊急時対応職員の役割分担を確認している。						
		AED資格取得率（算台含む、また期中の新規採用者及び休職中職員等は除く）	100%	41	A	救急救命体制が整えられ、全職員が取得されていることを評価する。	100%	A	救急救命体制が整えられ、全職員が取得されていることを評価する。	100%						
	定性的	個人情報の取扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	42	B		八王子市情報セキュリティーポリシーに準拠した保護対策を財団の各規程等で定め、実施している。	B		八王子市情報セキュリティーポリシーに準拠した保護対策を財団の各規程等で定め、実施している。						
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例：保険証券】	43	B		施設・受託物賠償責任保険に加入。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合に見舞金等を対応)に加入している。	B		施設・受託物賠償責任保険に加入。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合に見舞金等を対応)に加入している。						
			事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	44	B		・利用者の安全を最優先に、財団の「災害時対応マニュアル」や八王子スクエアビル「地震対応マニュアル」を基に即時対応する。 ・毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。 ・緊急連絡網を作成し、有事の際は迅速に情報共有できるよう体制を整えている。 ・地震発生時には「学園都市センター 施設の発生後安全確認点検項目」を元に迅速な対応をし、サイボウズにて経営管理課へ報告している。	B		・利用者の安全を最優先に、財団の「災害時対応マニュアル」や八王子スクエアビル「地震対応マニュアル」を基に即時対応する。 ・毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。 ・緊急連絡網を作成し、有事の際は迅速に情報共有できるよう体制を整えている。 ・地震発生時には「学園都市センター 施設の発生後安全確認点検項目」を元に迅速な対応をし、サイボウズにて経営管理課へ報告している。						